

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 057	提案機関名 神奈川県畜産会
要望問題名 肉質を重視した多産系繁殖豚の改良	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 養豚における収益性を高めるためには繁殖豚の分娩回転率や平均分娩頭数・離乳頭数、離乳体重等繁殖豚の育種による改良が望まれる、しかし、本県養豚はおいしさに敏感な消費者をターゲットとしているため肉質の低下は許されない。そこで遺伝的には背反する肉質を維持向上し繁殖性を向上する繁殖豚を育種し県内に広く配布していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 系統豚を利用した改良型種豚の開発 (平成29～32年度)			
対応の内容等 国際情勢等の影響により産地間競争が激化しており、規模拡大が困難な本県においてはいかに生産性を高めていくかが課題となっています。そこで現在、当所で維持繁殖している系統豚「ユメカナエル」を活用し、肉質を維持しつつ、繁殖性向上を図る取り組みを外部精液の導入により進めており、検討に当たっては、繁殖性だけでなく、肉質に関しても評価項目としているところです。効率的な肉豚生産体制の構築を進めることで御要望いただいた内容について対応させていただきたいと思っております。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			